



平成28年10月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年9月9日

上場会社名 クミアイ化学工業株式会社 上場取引所 東
 コード番号 4996 URL <http://www.kumiai-chem.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小池好智
 問合せ先責任者 (役職名) 理事経営管理部長 (氏名) 吉村 巧 (TEL) 03-3822-5036
 四半期報告書提出予定日 平成28年9月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満四捨五入)

1. 平成28年10月期第3四半期の連結業績 (平成27年11月1日～平成28年7月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年10月期第3四半期	50,072	0.6	2,373	△37.5	3,855	△24.1	2,749	△24.2
27年10月期第3四半期	49,756	8.4	3,800	18.4	5,077	22.5	3,625	33.0

(注) 包括利益 28年10月期第3四半期 90百万円(△98.2%) 27年10月期第3四半期 4,920百万円(4.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年10月期第3四半期	34.59	—
27年10月期第3四半期	45.36	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年10月期第3四半期	82,679	56,152	63.8
27年10月期	85,089	56,787	62.8

(参考) 自己資本 28年10月期第3四半期 52,759百万円 27年10月期 53,401百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年10月期	—	—	—	8.00	8.00
28年10月期	—	—	—	—	—
28年10月期(予想)	—	—	—	8.00	8.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年10月期の連結業績予想 (平成27年11月1日～平成28年10月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	62,000	1.4	1,900	△49.0	3,800	△52.9	2,900	△55.8	36.49

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	28年10月期3Q	86,977,709株	27年10月期	86,977,709株
② 期末自己株式数	28年10月期3Q	7,505,926株	27年10月期	7,505,338株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	28年10月期3Q	79,472,060株	27年10月期3Q	79,915,724株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外ではありますが、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は完了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る本資料の発表日現在における仮定を前提としております。実際の業績は、今後さまざまな要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、基調としては緩やかな回復が続いているとみられるものの、為替円高の状況から輸出や設備投資は軟調に推移しております。また、新興国経済の減速や英国のEU離脱問題などを巡って先行きは依然不透明な状況となっております。

このような情勢のもと、当グループは持続的成長の維持、企業体質の強化等の重要方針を達成すべく、経営基盤の構築、利益率の向上及びコスト低減に取り組んでまいりました。また、国内外ともに自社開発品を中心として、マーケティング戦略に基づく普及・販売の拡大に努めてまいりました。

当グループの第3四半期連結累計期間における売上高は500億7千2百万円、前年同期比3億1千7百万円(0.6%)の増となりました。損益面につきましては、為替円高の影響により、営業利益は23億7千3百万円、前年同期比14億2千7百万円(37.5%)の減、経常利益は38億5千5百万円、前年同期比12億2千2百万円(24.1%)の減となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は、前年に計上した特別利益の影響により、27億4千9百万円、前年同期比8億7千6百万円(24.2%)の減となりました。

当グループの中心となる化学品セグメントは、農薬の販売が主体を占めております。この農薬の中でも、主力となる水稲用除草剤及び水稲用箱処理剤は、4月から6月初めまでが実際の使用時期となりますが、これに伴う販売のピークは通常2月から4月となります。従って、化学品セグメントの売上高は上半期に比べ下半期の割合が低くなる傾向にあります。

セグメントの概況につきましては以下の通りです。

セグメント	平成28年10月期 第3四半期		平成27年10月期 第3四半期		前年同期比	
	売上高	構成比	売上高	構成比	金額	増減率
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
化学品	46,735	93.3	46,514	93.5	221	0.5
賃貸	173	0.3	173	0.3	0	0.1
その他	3,164	6.3	3,069	6.2	95	3.1
計	50,072	100.0	49,756	100.0	317	0.6

① 化学品セグメント

国内販売部門の農耕地分野では、水稲用除草剤は自社開発の主力製品を中心に普及・拡販に努めたものの、他社との競合激化など厳しい状況が続き水稲用除草剤全体の売上は前年同期を下回りました。水稲用箱処理剤は、「イソチアニル剤」の販売が好調に推移し前年同期を上回りました。

また、園芸分野では、殺菌剤「ファンタジスタ剤」、「プロポーズ剤」は病害の発生により前年同期を上回りましたが、他既存剤は流通在庫調整の影響などにより低調に推移しました。

非農耕地向け薬剤販売及び受託加工は、流通在庫調整の影響により厳しい状況となりました。

海外販売部門では、畑作用除草剤「アクシーブ(ピロキサスルホン)剤」の米国での売上が伸長し、植物成長調節剤「KIM-112」が欧州で堅調を維持したことなどから、前年同期を大きく上回りました。

上記の結果、化学品セグメントの売上高は467億3千5百万円、前年同期比2億2千1百万円(0.5%)の増、営業利益は25億2千6百万円、前年同期比13億9千万円(35.5%)の減となりました。

② 賃貸セグメント

賃貸セグメントの売上高は、引き続き保有資産の有効活用に努めた結果、1億7千3百万円(セグメント間の内部売上を含めた売上高は3億1千4百万円)、前年同期比0百万円(0.1%)の増、営業利益は1億9千9百万円、前年同期比4百万円(2.0%)の増となりました。

③ その他

流通事業、印刷事業、情報サービス事業、環境中の化学物質等計量事業及びメガソーラーによる売電収入などで構成されるその他は、流通事業では農薬関連取引先の取扱量減少により、売上、利益ともに前年同期を下回りました。印刷事業では既存顧客への売上が増加し、さらに昨年来取り組んできたコスト削減の効果が現われ、売上、利益ともに前年同期を上回りました。メガソーラー等による売電収入は好天が続き売上、利益ともに前年同期を上回りました。以上の結果、その他全体の売上高は31億6千4百万円、前年同期比9千5百万円(3.1%)の増、営業利益は1億8千5百万円、前年同期比5千5百万円(22.8%)の減となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

財政状態の変動状況

当第3四半期連結会計期間末の総資産は826億7千9百万円で、前連結会計年度末に比べ24億9百万円の減となりました。これは主に現金及び預金、商品及び製品並びに投資有価証券の減少が、受取手形及び売掛金の増加を上回ったことなどによるものです。

負債は265億2千7百万円で、前連結会計年度末に比べ17億7千5百万円の減となりました。これは主に支払手形及び買掛金、未払金並びに長期借入金の減少が、短期借入金の増加を上回ったことなどによるものです。

純資産は561億5千2百万円、自己資本比率は63.8%、1株当たり純資産は663円88銭となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

最近の業績動向を踏まえ、通期の連結業績予想につきましては、前回公表時(平成28年6月7日)から予想数値を変更しております。詳細につきましては、本日(平成28年9月9日)公表いたしました「平成28年10月期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用について、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等に含めて表示しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

(企業結合に関する会計基準等の適用)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。)、 「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。)及び「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。)等を、第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更いたしました。また、第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方法に変更いたします。加えて、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っています。当該表示の変更を反映させるため、前第3四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っています。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58-2項(4)、連結会計基準第44-5項(4)及び事業分離等会計基準第57-4項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首時点から将来にわたって適用しています。

なお、当第3四半期連結累計期間において、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(減価償却方法の変更)

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第32号平成28年6月17日)を当第3四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

なお、当第3四半期連結累計期間において、四半期連結財務諸表への影響額は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年10月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年7月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	9,742	5,142
受取手形及び売掛金	10,014	14,487
有価証券	645	520
商品及び製品	8,630	6,718
仕掛品	2,663	2,756
原材料及び貯蔵品	1,574	1,734
繰延税金資産	793	791
その他	862	2,527
貸倒引当金	△3	△3
流動資産合計	34,918	34,672
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	3,789	3,985
機械装置及び運搬具（純額）	1,939	1,783
土地	6,413	6,406
建設仮勘定	188	125
その他（純額）	511	498
有形固定資産合計	12,839	12,796
無形固定資産		
投資その他の資産	272	299
投資有価証券	36,151	34,040
繰延税金資産	302	287
退職給付に係る資産	11	1
その他	595	585
投資その他の資産合計	37,060	34,913
固定資産合計	50,171	48,008
資産合計	85,089	82,679

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年10月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年7月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	10,296	8,719
短期借入金	3,580	6,610
未払金	1,787	848
未払法人税等	846	177
賞与引当金	639	318
その他	564	637
流動負債合計	17,712	17,310
固定負債		
長期借入金	5,650	4,830
繰延税金負債	1,686	1,313
役員退職慰労引当金	391	317
退職給付に係る負債	2,554	2,453
資産除去債務	36	37
その他	273	267
固定負債合計	10,590	9,218
負債合計	28,302	26,527
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,534	4,534
資本剰余金	5,033	5,033
利益剰余金	42,024	44,131
自己株式	△1,565	△1,566
株主資本合計	50,026	52,133
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,770	3,026
為替換算調整勘定	△89	△2,130
退職給付に係る調整累計額	△307	△270
その他の包括利益累計額合計	3,374	626
非支配株主持分	3,386	3,393
純資産合計	56,787	56,152
負債純資産合計	85,089	82,679

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年11月1日 至平成27年7月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年11月1日 至平成28年7月31日)
売上高	49,756	50,072
売上原価	38,813	40,062
売上総利益	10,943	10,011
販売費及び一般管理費	7,143	7,637
営業利益	3,800	2,373
営業外収益		
受取利息	53	50
受取配当金	328	190
持分法による投資利益	668	1,387
為替差益	174	—
その他	140	118
営業外収益合計	1,362	1,745
営業外費用		
支払利息	12	39
売上割引	38	36
為替差損	—	128
その他	36	61
営業外費用合計	86	264
経常利益	5,077	3,855
特別利益		
固定資産売却益	51	—
投資有価証券売却益	62	1
知的財産権譲渡益	883	—
特別利益合計	996	1
特別損失		
固定資産処分損	59	20
投資有価証券売却損	13	—
環境対策費	463	—
特別損失合計	535	20
税金等調整前四半期純利益	5,537	3,835
法人税等	1,710	934
四半期純利益	3,828	2,902
非支配株主に帰属する四半期純利益	202	152
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,625	2,749

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年11月1日 至平成27年7月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年11月1日 至平成28年7月31日)
四半期純利益	3,828	2,902
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	994	△556
為替換算調整勘定	44	△184
退職給付に係る調整額	10	36
持分法適用会社に対する持分相当額	44	△2,107
その他の包括利益合計	1,092	△2,811
四半期包括利益	4,920	90
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	4,695	1
非支配株主に係る四半期包括利益	225	89

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成26年11月1日至平成27年7月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

	報告セグメント			その他 (百万円) (注)1	合計 (百万円)	調整額 (百万円) (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (百万円) (注)3
	化学品 (百万円)	賃貸 (百万円)	計 (百万円)				
売上高							
(1)外部顧客への売上高	46,514	173	46,687	3,069	49,756	—	49,756
(2)セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	144	144	1,220	1,364	△1,364	—
計	46,514	317	46,831	4,289	51,119	△1,364	49,756
セグメント利益	3,917	195	4,112	239	4,351	△551	3,800

(注) 1 その他の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、各種印刷物の製造販売事業、運送・倉庫事業、情報サービス事業、環境中の化学物質等計量事業、発電及び売電事業等を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額△551百万円は、主に各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成27年11月1日至平成28年7月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

	報告セグメント			その他 (百万円) (注)1	合計 (百万円)	調整額 (百万円) (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (百万円) (注)3
	化学品 (百万円)	賃貸 (百万円)	計 (百万円)				
売上高							
(1)外部顧客への売上高	46,735	173	46,908	3,164	50,072	—	50,072
(2)セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	141	141	1,048	1,189	△1,189	—
計	46,735	314	47,049	4,212	51,261	△1,189	50,072
セグメント利益	2,526	199	2,726	185	2,910	△537	2,373

(注) 1 その他の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、各種印刷物の製造販売事業、運送・倉庫事業、情報サービス事業、環境中の化学物質等計量事業、発電及び売電事業等を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額△537百万円は、主に各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。